

平成28事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

平成28年2月

平成28事業年度 事業計画書

I 基本方針

宇部市文化創造財団は設立後間もなく2年半を迎え、財団事業の中核となる自主文化事業の開始、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理、市からの文化事業の受託を始め2年経過する。この間に発生した様々な課題や改善点を少しでも解消するとともに、市民が期待する組織に近づけ、密度の濃い活動を進めていくため、平成28事業年度においては、次のことを重点的に取り組んでいく。

- 1 市民の期待に応えられる自主文化事業を実施していくため、要となるプロモーターや取扱い業者との関係強化と、計画的な訪問により有用な情報の取得を図る。
- 2 魅力的な自主文化事業を実施するために、各種団体が行う助成金事業を積極的に活用していくとともに、事業の趣旨に賛同していただける企業等からの助成や支援を求めていく。
- 3 開催事業の誘客の有効な促進策として、友の会会員の倍増を図るため、登録システム及び登録証の見直しや魅力アップを実現するとともに、文化活動団体や企業等を意欲的に訪問していく。
- 4 記念会館や文化会館の利用率・稼働率を上げるため、平日の利用促進やロビーの活用を進めると同時に、記念会館の歴史や特徴・素晴らしさを情報発信していく。
- 5 「まちなか市民★きらめきギャラリー」における新たな企画事業の実施や、川崎美術館など近隣施設との連携を図る。
- 6 市が「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて進める『アーティスト・イン・レジデンス』事業と連携し、アーティストとの交流やアートにふれあう機会の創出を図る。
- 7 高齢者や子どものほか、障害者差別解消法に沿って障がいを抱える方にも配慮するとともに、参加しやすい事業を実施する。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

(1) ステージ事業

●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施 時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
1	7/5 (火)	【共催事業 主催：宇部音鑑】 「綾戸智恵 & N響メンバーによる スーパーセッション！」	【目的】宇部市内の文化団体と連携し、 共催事業として実施することにより、文 化の鑑賞機会が少なく、会館からも遠の いている層への普及啓発となり、文化の 愛好者の拡大につながる。 【効果】共催事業の実施により、より財 団の提供事業の幅が広がり、ひいては友 の会の会員の増加と文化のより幅広い 享受につながる。 【ターゲット】 20～70歳代の女性・男性	記念 会館	—
2	7/17 (日)	【共催事業 主催：ユニオン音楽事務所】 TSUKEMENコンサート 2ヴァイオリンとピアノのイン ストゥルメンタル・ユニット TSUKEMEN (つけめん)。 クラシックから映画音楽、ジャ ズ、アニメ曲まで多彩な楽曲で 魅了する公演。	【目的】クラシックのユニット公演を共 催事業として実施すること、ホールの特 性を活かすことができるとともに、質の 高い公演の鑑賞機会の提供を図る。 【効果】共催事業の実施により、財団の 提供事業の幅が広がり、ひいては友の会 の会員の増加と文化のより幅広い享受 につながる。 【ターゲット】 30～70歳代の女性・男性	記念 会館	—
3	8月 ～ 9月 (予定)	「サンリオミュージカルショー 『ハローキティーの ラブリーステージ』(予定) ハローキティ・ディアダニエル をはじめマイメロディなど世代 や性別を超えて普遍的に愛され 親しまれている個性あふれるキ ャラクターたちが、愛と夢の世 界へと誘うファミリーミュージ カル公演。	【目的】低年齢の子ども達から大人まで 楽しめる公演の実施により、テレビとは 異なる生の舞台に触れる機会の少ない 層への普及拡大を図る事業。 【効果】舞台での公演に間近に文化に触 れることにより、感動の機会の提供と経 験価値を高めることにより次代を担う 子ども達が感性豊かに過ごしていくま ちづくりにつながる。 【ターゲット】 0～30歳代の親子・家族、学生	記念 会館	3,700

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
4	9月 ～ 11月 (予定)	「リトグリ・ コンサートツアー2016」(仮称) (Little Glee Monster ～リトル・グリー・モンスター～) 最強の歌少女たちが全国から集 まって結成された、平均年齢16 歳の女子中高校生ボーカルグル ープ。大型夏フェスでの歌唱や、 著名アーティストとの共演も多 数の2016年にブレイク必至の Little Glee Monsterの公演。	【目的】敷居が高く思われがちな文化施 設へも気軽に足を運んでもらえるよう、 今まであまり公演実施の少ない青少年 ターゲットの公演を行うことで鑑賞機 会の提供を図る。 【効果】青少年ターゲットの公演を実施 することにより、文化の愛好者の拡大に 繋がり、感動体験により、経験価値が高 まり、心豊かな生活ができるまちづくり につながる。 【ターゲット】 10～30歳代中高生・親子・家族	記念 会館	3,050
5	10/7 (金)	「大野雄二 &ルパンティック・ファイブ」 誰もが耳にしたことのある「ル パン三世」のテーマ曲を作曲し たジャズピアニスト・大野雄二 率いるジャズバンドコンサート 公演。	【目的】ジャズ音楽ではあるものの「ル パン三世」楽曲であり親しみのある曲 で、若者から団塊の世代まで幅広く楽し めるコンサートを実施することにより、 鑑賞機会の提供と新規の鑑賞者開発を 図る。 【効果】文化に触れる機会が少ない世代 や会館からも足の遠のいている層の来 場により、文化の愛好者の拡大につな がる。 【ターゲット】 30～70歳代の男性・女性	記念 会館	4,900
6	11/19 (土)	【共催事業 主催：yab 山口朝日放送】 「名曲の花束 ソフィア・ゾリステン &リヤ・ペトロヴァ」 ブルガリアが世界に誇る名門室 内合奏団ソフィア・ゾリステン とブルガリアが生んだ美しき若 き天才ヴァイオリニスト リ ヤ・ペトロヴァが贈る 珠玉の室 内楽名曲集公演。	【目的】ホールの特性を活かした海外の 質の高い公演の鑑賞機会の提供を目的 とした事業。 【効果】共催事業の実施により、財団の 提供事業の幅が広がり、ひいては友の会 の会員の増加と文化のより幅広い享受 につながる。 【ターゲット】 20～70歳代の女性・男性	記念 会館	—

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
7	12/3 (土)	「市原悦子 朗読とお話の世界」 20年にわたる長寿番組「まんが 日本昔ばなし」でお馴染みの市 原悦子が贈る、心洗われる時間。 地元の民話「金の鶏」（霜降山伝 説）などを独特の声と感情豊か な語りで繰り広げる朗読の世界 に誘う公演。 ※地元ボランティアの協力を得 て、プレ事業で子ども達への「読 み聞かせ」や「朗読ワークショ ップ」等の実施も予定。	【目的】 子どもから大人まで一緒に楽し むことの出来る公演を実施すること により、鑑賞機会の提供と新たな鑑賞者の 拡大を図る。 【効果】 想像力の高まる朗読公演を親 子・家族で鑑賞する機会を共有すること により、文化の鑑賞機会が少なく、会館 への来場が少ない層への普及啓発とな り文化の愛好者の拡大と次代を担う青 少年の鑑賞者開発につながる。 【ターゲット】 10～60 歳代の親子・家族	記念 会館	2,600
8	未定	【共催事業 主催：宇部好楽協会】 「小林愛実 宇部市凱旋 ピアノコンサート」 ※出演調整中 5年に1度開かれる若手ピアニ ストの登竜門として世界最高峰 の「ショパン国際ピアノコンク ール」本選に残った小林愛実(宇 部市出身)。“天才少女”と呼ば れ続けた小林愛実の宇部市凱旋 ピアノコンサート。	【目的】 ホールの特性を活かした質の高 い公演の鑑賞機会の提供を目的とした 事業。 【効果】 共催事業の実施により、財団の 提供事業の幅が広がり、ひいては友の会 の会員の増加と文化のより幅広い享受 につながる。 【ターゲット】 20～70 歳代の女性・男性	記念 会館	—
9	未定	「大型アーティスト公演」 ※プロモーター等と 鋭意交渉中 市民からの要望が多い知名度の 高いアーティストを誘致し、質 の高い舞台公演を実施する。	【目的】 ホールの特性を活かした国内で 活躍する質の高いアーティストの公演 を実施し、普段触れることの少ない鑑賞 機会の提供を目的とする。 【効果】 宇部市での実施があまりないア ーティスト公演を行うことにより、 市民の文化に触れる機会が増え、経験価 値が高まり、心豊かに過ごすことのでき る町づくりへとつながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館	未定

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
10	未定	「五嶋龍 ヴァイオリンコンサート」 ※出演交渉中 演奏において、完璧なテクニックで独自の音楽的才能を披露することのできるトップヴァイオリニスト・五嶋龍によるコンサート公演。	【目的】ホールの特性を活かした、国際的にも活躍するアーティスト「五嶋龍」のヴァイオリンコンサートを実施することにより、普段触れることの少ないトップアーティストの鑑賞機会を提供することを目的とする。 【効果】大都市圏でしか鑑賞することのできないアーティスト公演を実施することにより、地元ホール「記念会館」の文化的価値と地元宇部への愛着、アイデンティティの再認識が図れ、新規鑑賞者の獲得と愛好者のさらなる拡大につながる。 【メインターゲット】 10～70歳代の女性・男性	記念会館	未定

●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8/6 (土) 7 (日)	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	文化会館	1,015
2	12月 中旬	「第九『歓喜の歌』で HAPPY END IN 渡辺翁記念会館」 【継続事業】	1年の締めくくりに、山口県にゆかりのある出演者等によるステージのほか、その方達と地元オーケストラ、市民から一般公募で結成された合唱団と一緒に「第九」を大合唱する。今回は記念の10回目となる。	記念会館	285
3	9月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	市民音楽祭、吟剣詩舞道、邦楽演奏、演劇、日本民謡・奇術、文連フェスティバルなどを各種文化団体が実施。	文化会館 ほか	257

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	10月中旬 (予定)	「宇部市収蔵品展」(仮称) 宇部市に寄贈された絵画作品等の展示事業。展示期間中は、作品制作におけるエピソードや作者の思い等が伝えられる仕掛けを行う。	【目的】普段あまり目にすることのない宇部市収蔵品の展示及び作品の背景を知ることができる仕掛けづくりを行うことにより、多くの市民が文化に親しむきっかけ作りと鑑賞の機会を創出するとともに、作品を身近に感じていただく。 【効果】市民がより文化に触れる機会を提供することにより、地元宇部に対する愛着とアイデンティティーの再確認・再構築につながる。 【ターゲット】 市民全般	文化会館	100

●市受託事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	9月～11月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	写真、手工芸、絵画・彫刻、詩、陶芸、短歌、華道、木彫篆額、俳画、俳句、書道、古典園芸、ばら、ラン、盆栽などの展示会を各部門で実施。	文化会館 ほか	1,341

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」事業支援 【新規事業支援】	市内でブラスバンド等を行っている児童・生徒たちの技術のレベルアップを図る機会を創出したり、「宇部ジュニア・アンサンブル」とコラボ演奏するなどの方法で若手音楽家の育成を図る。	記念会館 ほか	200
2	2月 ～ 3月 (予定)	「第2回宇部現代美術展」 事業支援 【新規事業支援】	近隣の気鋭の作家と市内アーティストとのコラボ出展・シンポジウム等の開催により、人々の交流の場の創出を図り、市内に現代アートを定着させる事業。28事業年度は実行委員会にて実施され、支援を行う。(平成26事業年度の第1回現代美術展は財団自主文化事業として実施)また、まちなかアートフェスタとの連携も探っていく。	記念会館 ほか	300
3	適宜	「宇部市舞台芸術」 育成関連事業支援 【継続事業支援】	宇部市にまつわる人物や歴史を題材に行われる演劇文化事業を支援することにより、宇部市における演劇及び舞台芸術の文化活動者の底辺の拡大を目指す。	—	100
4	適宜	「記念会館活用・活性化PR事業」 【継続実施】	「渡辺翁記念会館」の歴史的価値と建築物としての価値(重要文化財)を発信する事業。 * 市民に改めて記念会館の素晴らしさを認識してもらおうとともに、自主文化事業に著名なアーティストを招へいしたり、県外業者等に積極的に利用していただくための宣伝材料として、パンフレットを作成する。 * 過去記念会館の歴史や価値、素晴らしさを紹介する展示を拡充。 * 「ロビー・コンサート事業」 * 「ダンス・パーティー事業」等	記念会館	500

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 記念会館及び文化会館を主として、市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金(予算の範囲内)や会場利用料などの援助を行う。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全育成や文化活動団体の育成につながる。 【ターゲット】 宇部市内の文化活動団体	1,000

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
1	6/19 (日) (予定)	「音楽の祭日 2016 i n 宇部」 【継続事業】 26事業年度からの継続事業。 夏至の日に開催し、プロ・アマチュアを問わず様々なジャンルのアーティストが一堂に会して実施する事業。また、ふるさとアーティストが出演できる場も創出する。(※場合によってはおやじバンド i n 渡辺翁記念会館に組み込むこともあり)	【目的】音楽を通して文化振興と活動者の育成及び鑑賞者の鑑賞機会の創出を図る事業 【効果】出演者は他団体との交流や新しい公演事業への発展があるとともに、来場者は新たなジャンルの音楽に触れる機会の提供となり、音楽鑑賞者の育成、音楽文化の底辺の拡大、将来の音楽を通してのまちづくりにつながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館 ほか	800
2	調整中	「おやじバンド i n 渡辺翁記念会館」 【新規事業】 シニア世代を出演者ターゲットとして実施する音楽公演事業。	【目的】高齢化社会に向かう中、出演者をシニア世代に絞り、音楽ライブイベントを開催する。 【効果】活動の場、自己実現・自己達成の場の創出により、出演者同士、出演者と鑑賞者、そしてシニア世代と若者世代の新しい交流が生まれ、まち・ひとに活力が生まれ、心豊かに生活できるまちづくりにつながる。 【ターゲット】 市民全般	記念 会館	600

No.	実施 時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
3	7月 ～ 10月 (予定)	「アートマネージャー養成講座 第2弾『企画立案研究』 ～宇部市の文化、 考えてみませんか?～」 【継続事業】 人と人、人と文化、そして人と 地域つなぐアートマネジメント を实践するアートマネージャー を養成する講座の第2弾を実 施。	【目的】 27事業年度に実施した入門 的第1弾の講座を踏まえ、資金調達を 視野に入れた企画立案に焦点を絞っ て実施する。 【効果】 より実践的な講座を実施する ことにより、アートにかかわる人材育 成と、宇部の文化力のさらなる底上げ につながるとともに、将来的に大型事 業を行う折の人材の発掘を行う。ま た、宇部市の関連事業実施の際には、 提案もしていける企画力をもった市 民の養成にもつながる。 【ターゲット】 文化活動者・文化活動団体及び 市民全般	文化 会館	620
4	未定	【誘致事業】 【共催事業】 主催(一社)日本演出者協会] 「演劇大学@宇部」 日本演出家協会主催の演劇大学 の宇部市での実施を誘致する。	【目的】 宇部市内や周辺市で活動する 役者・スタッフ等のさらなるレベルア ップと交流を創出する。 【効果】 様々な演出家の指導や戯曲講 座、ワークショップ等を受講すること により、活動者の潜在的な表現力が高 まるとともに、初心者の方々の参加に より、新たな活動者の発掘と人材育成 へつながる。それにより宇部市の演劇 ジャンルのすそ野の拡大とレベルア ップにつながる。 【ターゲット】 演劇活動者及び市民全般	記念 会館	100

No.	実施 時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
5	9月 ～ 11月 (予定)	「バリアフリーアート事業」 【新規事業】 幼児から高齢者、そして障がい を抱える方等も楽しめる「音 楽・書道・美術・写真・手工芸」 等の文化事業を実施する。	【目的】「音楽・書道・美術・写真・ 手工芸」等、市民のニーズや生涯学習 の多様化にも対応できる文化事業を 実施する。 【効果】文化事業等への参加を通じ て、感動や出来る喜びを体験し、経験 価値が高まることで、心豊かに生活で きるまちづくりにつながる。 【ターゲット】 市民全般	文化 会館	480
6	9月 ～ 11月 (予定)	次世代育成事業 「鑑賞&ワークショップ体験 『とら・とろ・ぴあ♪の 楽しい音楽会』」 【新規事業】 「生音楽の楽しさ」がたくさん 伝わってくる「とら＝トランペ ット」「とろ＝トロンボーン」「ぴ あ＝ピアノ」の音楽会。 客席で聴くだけではなく究極の 参加型のコンサート公演。	【目的】次代を担う子どもたちに、良 質な文化を鑑賞する機会を提供する ことで心豊かに健やかに育っていく 環境整備を図る。 【効果】鑑賞公演とワークショップを 連動させた事業を実施することによ り、文化がより身近なものになり、 また、親子・家族での感動を共有する ことで経験価値が高まり、ひいては心 豊かな生活できるまちづくりにつな がる。 【ターゲット】 0～30歳代の親子・家族	文化 会館	700
7	9月 ～ 11月 (予定)	「宇部市総合戦略 アートによるまちづくり 『アーティスト・イン・ レジデンス』」連携事業 【新規事業】 宇部市の認知度をアップし、交 流人口や移住・定住人口の増加 を図るため行われる事業のひと つ「アートによるまちづくり『ア ーティスト・イン・レジデ ンス』」。その連携事業として、ま ちなか市民★きらめきギャラ リーにおいて、アーティストによ るワークショップを実施し、市 民や子ども達がアートに触れあ う機会を創出する。	【目的】宇部市が実施する「アーティ スト・イン・レジデンス」に連動して、 アーティストの作品展示・ギャラリー トーク・ワークショップ等の関連事業 を実施する。 【効果】アーティストとの交流や教育 活動を通じて市民の文化への興味関 心がさらに深まり、経験価値が高まる ことでより豊かな生活及び社会活動 につながる。 【ターゲット】 市民全般	文化 会館	200

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施 時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「こども伝統文化 わくわく体験学校」 【継続事業】	華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほか、 多彩なジャンルの体験教室を開催。	文化 会館他	77
2	6月～ 8月(予定)	「箏曲 ワークショップ」 【継続事業】	市内で実施される各種イベントを活用 し、市民を対象に箏の教室を開催。	文化 会館他	50
3	9月～ 1月(予定)	「子ども文化夢教室」 【継続事業】	レベルの高い指導者による、学校でのア ウトリーチ・ワークショップ型文化教室 を開催。	各小 学校	652

②財団職員に対して

- 当財団に求められる「市民と市民、市民と文化、市民と社会」をつなぐ役割、いわゆるアートマネジメント人材としての役割に応えられるよう、職員の資質向上に努める。
- 財団の円滑な運営を行うため、経理・人事管理・理事会運営等のノウハウを各種の研修を通じてより一層高める。
- 全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する専門的な研修を活用し、職員それぞれの専門性を高める。
- 外部講師を招いてのCS（顧客満足）に対する意識啓発や内部で検証するミーティングの実施。
- 適切な事業推進を行って行けるようOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の実施や危機管理研修の定期実施等、職員の人材育成に努める。
- 職員間による施設管理や防犯・防災対策、関係法令等に関する内部研修会などの実施。
- 文化庁が実施する講師派遣型支援事業を継続利用する。その中で鑑賞型事業等の企画公演実施の手法や広報宣伝・マーケティング分析、文化施設運営、資金調達方法等について助言を受けながら、財団運営能力の向上と運営基盤の強化を図る。

【具体的な研修事例】

- ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
- ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
- ◇全国劇場・音楽堂等技術職員研修会
- ◇中四国支部業務管理研修会
- ◇劇場・音楽堂等アートマネジメント人材養成講座
- ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業
- ◇劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業
- ◇地域創造ステージラボ

等

3 意識啓発及び情報発信事業

(1) 意識啓発事業

- 宇部志立市民大学での講師や、文化活動者との会合、そして新たに地元企業団体の会合等を通じて財団の理解者・支援者を増やしていく。
- 財団友の会
 - ・会員の登録システムや登録証の見直しをするとともに、実施する財団事業の魅力アップやその事業の効果的なPRを行うことで、会員の倍増を図る。
 - ・財団友の会の入会メリットである企画事業内容のさらなる充実と会員割引・先行予約の拡充を図る。
 - ・プロモーターや市内文化団体との共催事業の実施により、財団事業の魅力アップを図り、会員の入会メリットを増やす。
 - ・入会者の利便性を高めるために実施した「入会日からの1年間の有効期限」を継続実施し、財団の事業内容や企画内容のわかりやすい「事業ラインナップ『イベント・インフォメーション』」「イベントガイド」の作成に努め、新規会員の入会者を増やすとともに会員継続更新率を高める。
- 財団市民サポーター
 - ・財団市民サポーターの活動がより充実するよう、サポーター・財団職員合同の「サポーターミーティング」を実施し意見交換や情報交換を行うとともに、研修機会を創出し、よりよく活動が実施できるように行う。
 - ・学校のサークル、企業内グループ、地域団体など集合体としての参加の呼びかけを行う。

(ア) 友の会 会員数の現状（1月末現在）と目標／実績

種 類	現在の 会員数	平成 28 事業年度 目標会員数	平成 26 事業年度	平成 25 事業年度
個人会員	1 8 4 人	4 0 0 人	1 6 7 人	6 1 人
グループ会員	2 団体	5 団体	2 団体	1 団体
法人会員	1 9 団体	4 5 団体	1 4 団体	6 団体

(イ) 財団市民サポーター数の現状（1月末現在）と目標／実績

現在の サポーター数	平成 28 事業年度 目標サポーター数	平成 26 事業年度	平成 25 事業年度
4 2 人	5 0 人	3 9 人	3 1 人

(2) 情報発信事業

● 広報宣伝・販売促進の強化

新聞広告、ラジオ、テレビCM、パブリシティ、SNSの活用等、事業の性格に合ったメディアミックスで情報発信することにより販売促進につなげていく。

● 機関誌「イベントガイド」

広報＝パブリック・リレーション（PR＝Public Relation）の意味するとおり、一方的でなく双方向の関係性を築き、市民の鑑賞行動につながる内容掲載と誌面作りを行う。

● ホームページ

財団ホームページのさらなる充実と「記念会館」及び「文化会館」ページを新たに新設し、視認性を高め、催事などの豊富でタイムリーな情報を提供する。

● 他財団の機関誌等への掲載など文化関連組織等と連携して、効率の良い情報発信を進める。

4 調査研究及び資料収集事業

(1) 調査研究事業

● 過去実施の公演から、文化事業のマーケティング分析を行い、より良い情報提供と広報宣伝の方策を研究する。

● 平成26事業年度に導入したチケットのインターネットでの販売システムだけでなく、より利用者のチケット購買意欲を高め、チケット販売につながっていく利便性の向上を研究する。

● 今現在ある財団ホームページだけでなく、宇部市の顔ともいえる「記念会館」及び「文化会館」の検索でもよりよい情報がヒットできるようなホームページの再構築と、会館で開催する文化情報をタイムリーに入手できるお客様の立場に寄り添った情報提供の方策を調査研究する。

(2) 資料収集事業

● 助成金情報や研修事業等の情報の収集及びホームページや会館窓口での情報提供。

● 山口県内の他財団との横の連携を図ることで、事業の実施予定やアーティスト情報等の情報交換を行う。

● 全国規模のアートマネジメント研修や人材育成研修への出席により、職員の繋がり構築し、有用な情報収集を行う。

● 県内外の大手プロモーターとの常日頃からのコンタクトや直接訪問を計画的に行い、情報収集及びより良い関係性の構築を積極的に行う。

5 施設管理運営事業

- ① 料金や利用までの流れをより明確に提示することで、新規利用者の獲得、リピーターの増加を図る。
- ② 利用者に対し、専門的なアドバイスや指導を積極的に行うとともに、利用者からの意見に対しては真摯に向き合い、顧客満足を高めていく。
- ③ 省エネやリサイクルなど環境にも配慮しながら、経費の節減に取り組む。
- ④ 個人情報保護をはじめ、防犯・防災対策など危機管理対応の徹底を図る。
- ⑤ 文化事業のポスター掲示やチラシ設置により、広く市民に文化の情報を提供するとともに、プレイガイド機能の充実を図り、利用者の利便性を高める。
- ⑥ 記念会館の文化財的価値と公共ホールとしての価値を市民・利用者・出演アーティストに対して再周知し、記念会館での公演実施のステータスやブランド価値を高める。
- ⑦ 両館の利用率アップと来場者・利用者を増やし、市民が文化へ参加する機会を提供する「記念会館 利用促進（活用活性化）事業」を行い、まちなかの賑わいを創出する。特に平日や利用の少ない時期の利用促進策（貸館）を進めていく。
- ⑧ 障害者差別解消法の施行に基づき、障がいがある方等も利用しやすいよう施設のバリアフリー改修に努める。
- ⑨ 施設の修繕実績に基づき、市と連携して計画的な改修・修繕を進めていく。

【参考】

年 度	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
利用率目標	4 0 %	4 5 %	5 0 %	5 5 %	6 0 %

● 【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
1	4月 ～ 8月	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」</p> <p>①中学校単位にて実施【継続事業】 ②夏休み・親子・家族向け【新規事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を行う事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】</p> <p>①市内中学生 ※中学校単位にて受入・実施 ②小学生などの親子・家族</p>	記念会館 及びロビー	40

No.	実施 時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
2	不定期	<p>◆参加型事業（健康文化事業） 「記念会館をもっと知ろう！ そして心も体も健康になろう」 【新規事業】 身近にありながら、あまり知らない「記念会館」。普段あまり入ることのない記念会館の中まで踏み入っていただき、その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験いただく事業。 実施後は、健康体操を行ったり一緒に歌を歌ったりして、心も体もリフレッシュしていただく。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値を再認識していただくとともに、心と体をリフレッシュしていただく事業。 【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着を強めていただく。普段入ることの少ない場所で、皆で、心も体も健康な気持ちになっていただく。 【ターゲット】 高齢者・各種施設入居者等</p>	記念 会館 及び ロビー	40
3	8月 ほか	<p>◆体験型事業 「スタインウェイを弾こう！」 【継続事業】 普段弾くことの少ないスタインウェイのグランドピアノを、記念会館のステージ上で30分、満喫して弾くことができる事業。今年度は大人対象日と子ども対象日と分けて実施する。好評のため記念会館の空き状況を見て、年に数回行う。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を行う事業。 【効果】普段とは違うホールの空間で、スタインウェイグランドピアノを体験することで、青少年等が文化の鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。 【ターゲット】 市民全般</p>	記念 会館	36
4	4/30 (土)	<p>「コスプレ・イベント」（仮称） 【継続事業】 昨年度実施の「コスプレ撮影会」の規模を拡大し、フリーマーケット、ステージイベントを同時開催し、記念会館の認知度を高める。また、遠のいている若者層をターゲットに実施することで記念会館の魅力を再認識する事業。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を行う事業。 【効果】サブカルチャーに興味のある若者をターゲットに事業を行うことで、普段あまり足を運ぶ機会の少ないホールへの若者参画をねらう。記念会館の建造物的な価値が普段とは異なる客層に周知できるとともに宇部市の良さを再認識することのできる事業。 【ターゲット】 10～30歳代の女性・男性</p>	記念 会館 及び ロビー	365

No.	実施時期	事業名 実施概要	【目的】【効果】 【ターゲット】	会場	事業費
5	適宜	「ロビー・コンサート in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】 ロビーにおいて年2～3回開催。ホールでの音楽公演等のプレイベント的に開催し、本公演の演目への興味関心を高めるとともに、期待感をもっていただけるよう公演へ誘う。出演者は地元出身やゆかりのアーティストを起用することで、地元人材の活用も図る事業。	【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を行う事業。 【効果】文化の鑑賞機会の少ない層へ会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなか賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性	記念会館 ロビー	(150)
6	適宜	ロビー・ダンスフェス第2弾 「ダンス・パーティー in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】 かつてダンスホール会場としても利用されていた「記念会館ロビー」において実施する「ロビー・ダンスフェス第2弾」。ダンスホールをイメージし実施した第1弾に引き続き、第2弾は「ダンス・パーティー」をコンセプトに実施する。ロビーの醸し出す雰囲気の良いさを再認識していただく事業。	【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を行う事業。 【効果】宇部市においては活動人口の多いダンスグループや個人を対象に参加者を募り、実施することにより、市民の交流の機会と場を創出し、愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 ダンス愛好者及び市民全般	記念会館 ロビー	(350)

6 その他事業

- 記念会館・文化会館以外で展示が可能な近隣施設と連携して展示事業を実施することで相乗効果を高め、会館及び中心市街地による文化活動の拠点として市民に認識していただく。
- 宇部市街地に新設された「川崎美術館」と隣接の「まちなか市民★きらめきギャラリー」において、小・中学生向けのワークショップ等の教育プログラム開発や学校との連携、また幼児から高齢者まで幅広い世代への生涯学習の多様化に対応できるような教育普及ニーズにも対応できるよう連携を図る。
- 「まちなか市民★きらめきギャラリー」での企画事業の継続実施及び利用活用方法の提案と利用者の拡大。また、市民等の所蔵品・所有品を「文化お宝バンク」と題し募集し、「わたしのお宝・ふるさとのお宝」企画展を実施し、まちなかの賑わいを創出する。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】	会場	事業費
1	適宜	「展示等文化活動支援事業」 【継続事業】 記念会館・文化会館以外で展示が可能な近隣施設と連携して展示事業を実施する。 *宇部新川駅（会館・ギャラリー・川崎美術館）～市役所周辺（宇部井筒屋等）の間で行われる市民向けの企画展示等に対する支援	【目的】記念会館・文化会館だけでなく、展示が可能な近隣施設と連携して展示事業を実施することで相乗効果が高まる。 【効果】会館だけでなく中心市街地による文化活動の拠点が増え、市民の認識が高まることにより、鑑賞機会が増え、経験価値が高まることでより豊かな生活及び社会活動につながる。	—	100
2	適宜	「川崎美術館連携事業」 【新規事業】 「川崎美術館」と隣接の「まちなか市民★きらめきギャラリー」の連携事業。	【目的】ワークショップや教育プログラムの開発を連携して行うことで、幅広い世代が文化・美術に親しむことができる。 【効果】川崎美術館との連携を図ることで、小・中学生の文化・美術の鑑賞機会・体験機会の提供や、幼児から高齢者まで幅広い世代に対する生涯学習活動としての社会教育の場が広がる。	—	100

●市受託事業【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】	会場	事業費
1	(目標)年間4回程	まちなか市民★きらめきギャラリー事業 「アート・サロン」 【継続事業】 & 企画展「わたしのお宝・ふるさとのお宝」 【新規事業】 アーティストの作品展示と期間中のトークセッションやワークショップを実施する「アート・サロン」及び市民等の所蔵品・所有品を「文化お宝バンク」として募り、展示する「わたしのお宝・ふるさとのお宝」企画展を実施する。	【目的】新たなアーティストの発掘と宇部市ゆかりの「文化お宝バンク」のデータベース作成を行い、情報発信を行うことで、人と人・情報・アートを結び付ける。 【効果】まちなか市民★きらめきギャラリーの活性化と周辺市街地の活性化につながり、まちの賑わい創出につながる。	ギャラリー	100